

---

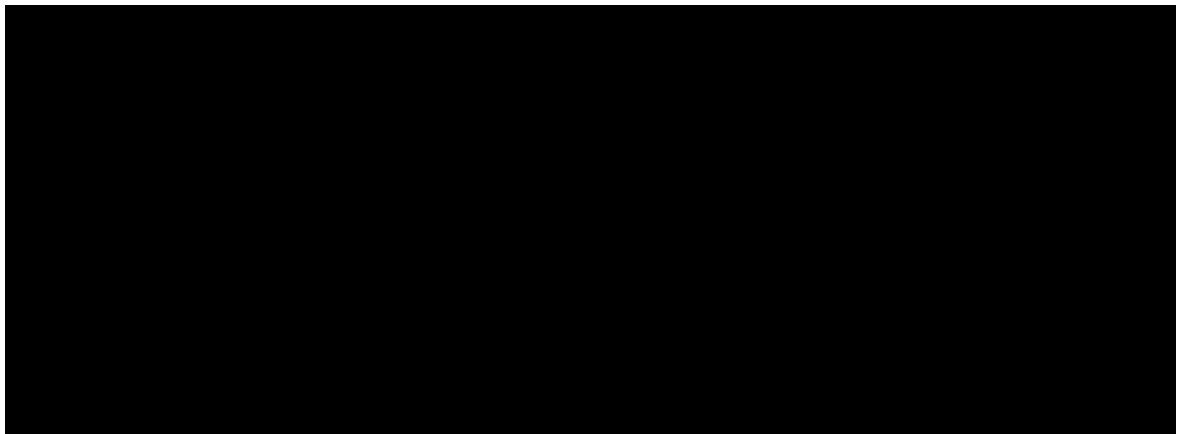
2024年度 京都女子大学大学院・発達教育学研究科（博士前期課程）

教育学専攻入学試験（春季）試験問題

【専 門】No.1

---

1. 小学校・中学校の通常の学級で特別な支援を要する児童生徒の割合は、増加傾向にあります。次の資料は令和4年の「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果」（文部科学省）の一部です。
- この資料を参考に、このような児童生徒への教育や支援の在り方についてあなたの考えを述べなさい。



※「学習面で著しい困難を示す」とは、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」の一つあるいは複数で著しい困難を示す場合を指し、一方、「行動面で著しい困難を示す」とは、「不注意」「多動性－衝動性」、あるいは「対人関係やこだわり等」について一つか複数で問題を著しく示す場合を指す。

2. 学校における「実感を伴った理解」とは何ですか。また「実感を伴った理解」を育むために、どのような学習が必要ですか。
- これらのことについて、具体的な事例を挙げて論述しなさい。

---

2024年度 京都女子大学大学院・発達教育学研究科（博士前期課程）  
教育学専攻入学試験（春季）試験問題  
【専 門】No.2

---

3. 次の語句を説明しなさい。

(1) 共生社会

(2) レッスン・スタディ（授業研究）